

奄美大島・喜界島農業の動き

■令和5年12月

1 津之輝の一連の生産販売強化活動を敢行！

12月5日には、奄美市住用町で津之輝の生産性向上を目的に、炭酸カルシウム資材の連用散布と予備枝設定の有効性を学ぶ研修会を開催し、生産者・関係者約50名が参集しました。実証農家の園地での成果を直接目の当たりにすることで今後の期待感を共有できました。12月17日には、鹿児島市のおいどん市場で津之輝の試食販売会を実施しました。昨年も購入されたお客様の声も聞かれるなど、「奄美つのがやき」の着実な浸透に一定の手応えを掴みました。今後の一層の産地強化に努めたいです。



津之輝栽培技術研修会①



津之輝生産技術研修会②



奄美つのがやき試食販売会①



奄美つのがやき試食販売会②

2 さとうきび収穫期を前に、農業機械安全研修会開催！

12月8日に奄美市笠利町で、ハーベスタのオペレーターや補助員を対象とした安全研修会が開催されました。普及情報課の水流主任農業専門普及指導員より、農業機械の安全使用について講演が行われ、実際の事故例を中心に参加者へ問いかける形で進みました。オペレーターや補助員が、事故が起きないために何をしたらいいのかについて考える研修となりました。

3 喜界町たんかん塾は第3回講義と修了式を実施

「喜界町たんかん塾」は、喜界町果樹振興会が主催し、同町内のたんかん栽培者が今一度基本的な栽培技術を学び直すことで技術の底上げを目的に、8月より開催しています。12月7日の最終回となった第3回では、喜界町営農支援センターにおいてたんかん農家11名が参加し「整枝せん定」や「幼木の管理」のポイント等について学びました。アンケートでは「せん定方法・徒長枝の活用法が参考になった」「植物生理・バイオスティミュラント資材について知りたい」等の意見が寄せられました。



第3回喜界町たんかん塾

4 大島地区指導農業士会が指導力向上に向けて県役員と意見交換会を実施

12月21日、大和村福元地区の新規就農者のたんかんほ場及び大和村防災センターで新規就農者及び指導農業士、関係機関が参加した現地就農トレーナー活動検討会が開催されました。検討会では、今年6月の豪雨災害に被災した新規就農者の経営再建の取組や指導農業士が自ら企画運営する栽培研修の事例等をもとに、新規就農者の育成課題について意見交換がなされました。今後、本会での意見を踏まえ、指導農業士と連携強化を図りながら、新規就農者の育成に努めていきたいです。



指導農業士会意見交換会①



指導農業士会意見交換会②

5 パッションフルーツの「つり上げ仕立て」研修会開催

12月6日、宇検村生勝地区でパッションフルーツの研修会を開催しました。生産者や関係機関23名が参加し、従来の枝を上から下に伸ばしながら果実を着ける「つり下げ仕立て」に対して、枝を下から上に伸ばす「つり上げ仕立て」を紹介しました。研修会を開催したほ場では、昨年度から「つり上げ仕立て」に取り組んでおり、園主から必要な資材や苗の整枝等について、農政普及課から当ほ場で調査した生育や収量等について説明しました。今後もパッションフルーツの栽培技術向上に努めます。



ほ場での研修会



室内研修会